



日本野鳥の会京都支部

1934(昭和9)年に日本野鳥の会が創立され、その2年後に全国初の支部として京都支部が発足しました。以来、約90年にわたって、愛鳥精神の普及や野鳥保護に取り組んでいます。現在、約800名の会員とともに主に3つの活動を展開しています。

鳥を見る



探鳥会

京都御苑や鴨川、北嵯峨など各所で探鳥会(バードウォッチングの会)を年間約100回開催しています。一般の方も参加できます。

バリアフリー探鳥会

障害者をはじめ高齢者やベビーカー家族を対象としたバリアフリー探鳥会を、鴨川や宝が池で開催しています。



講師の派遣

愛鳥精神を普及するため、小学校や自治体など各種の団体から依頼を受けて、愛鳥教室や探鳥会、巣箱づくりなどを企画し、講師を派遣しています。

鳥を知る

自主調査

桂川や宇治川、鴨川、芦生などで定期的に鳥類生息調査を行っています。また、サシバ(右)などタカの渡り調査も実施しています。



受託調査

鳥獣保護区調査、ガンカモ調査を京都府から受託して実施しています。左は阿蘇海でのガンカモ調査。

野鳥情報の記録

調査結果をまとめた『桂川の野鳥』や『DATA BOOK』のほか、『Birds of Kyoto 京都府鳥類目録2016』などを発行しています。



日本野鳥の会京都支部・桂川調査グループ

Birds of Kyoto



日本野鳥の会京都支部

鳥を守る

風力発電への対応

丹後半島における2件の風力発電計画について、野鳥保護の観点から、事業者と自治体に中止するよう要望書を提出しました。



チドリの保護

鴨川で子育てするチドリを保護するため、河原に注意喚起の看板を立て、京都市立の全ての小学校と幼稚園に啓発チラシを配布しました。



ブッポウソウの保護

京都府の絶滅寸前種ブッポウソウを保護するため、京都府北部の山中に巣箱を設置しました。

